



探鉱

環境
自然

7
まいん

ダイヤモンド水



別子銅山の名水 ダイヤモンド水

名水百選に加えたい
ダイヤモンドの輝き

ダイヤモンド水は、昭和26年(1951)鉱脈を探す作業中に深さ80メートルの所で地下水脈にあたり、水が湧き出たことがはじまりです。

その際に、先端に付いていたロッドの先の鉱業用ダイヤが作業終了後、回収不能になりました。

誰が名付けたわけでもなく、いつしか「ダイヤモンド水」という愛称で親しまれるようになりました。

この場所には休憩所が設置され、登山者のオアシスとして別子銅山の名所の一つとなっています。

水はとても冷たく、疲れた登山者の喉を潤してくれます。

めいすいひやくせん
名水百選

に上げたいほどのおいしい水です。みなさんも現地に行って飲んで実感してください。



あまりの冷たさにびっくり！

ふれあいめぐりあい

ダイヤモンド水を
振り当てた人

こんどう ひろお
近藤 弘男

さんが、昭和26年(1951)鉱脈を探す探鉱のお仕事をされていた際、水脈に当たったことがダイヤモンド水のはじまりとなりました。ダイヤモンド水は50年を経た今も当時と変わらず、ダイヤモンドのような輝きを保ちつつ、こんこんと湧き出ています。

近藤弘男さんはマイントピアを楽しく育てる会で観光ボランティアガイド部会長をされ、多くの方々に別子銅山の魅力をご紹介されました。

平成16年故人となりました。



こんどう ひろお
近藤 弘男さん

